

京都外国人高齢者・障がい者生活支援ネットワーク・モア

1 趣旨

京都在住の外国人（日本籍含む）高齢者・障がい者が保健・福祉・医療に関するサービスを平等に受けられるよう、歴史性と民族性や習慣に配慮した「外国人福祉委員」制度を作り、京都に暮らす誰もが健康で文化的な、安定した生活を送ることができるような多文化共生社会の実現をめざす。

2 設立

2006年4月

3 代表（共同代表）

加藤博史（龍谷大学短期大学部教授）

柴 松枝（朝鮮総聯京都府本部常任委員・権利福祉部担当）

金 周萬（大韓国民団京都府地方本部福祉推進委員会委員長）

朴 錫勇（札の辻診療所所長，

NPO 法人京都コリアン生活センターエルファ副理事長）

4 事務所

京都市南区東九条北河原町5

5 活動内容

京都に暮らす外国人（日本籍含む）高齢者・障がい者の福祉推進にあたり、家庭に訪問して相談等の支援や、地域でみまもり等の支援を行う「外国人福祉委員」を育成し、要支援者の要請を受けてモアの作成した支援計画に基づいて訪問、電話、相談等の活動を行う。

6 京都市との関係

外国人福祉員の活動経費として年額112万円を助成（担当 保健福祉局長寿社会部長寿福祉課）。

<参考>

2012年度支援内容

内容	件数
福祉サービス紹介・指導	59
生活・生きがい等	1,563
健康関係	36
関係機関との連絡調整	81
緊急時対応	34
合 計	1,773

外国人福祉委員	19
対象者	96
活動件数	801
のべ件数*	1,773

*1回に複数支援した場合も入れる